



きらり輝く
人とまち

第五十二回石川県民体育大会

八月三日から八日にかけて、第五十二回石川県民体育大会町村対抗の部(二部)が、金沢市を主会場に開催されました。

本町から、四十二競技に四百七十三名の選手、監督が参加。期間中、熱戦が繰り広げられ、男女あわせて五つの競技優勝を勝ち取りましたが、惜しくも本町は総合で男女とも第三位となりました。

来年の大会では、さらに上位を目指し、本町の選手団が活躍されることを期待します。

また、開会式の席上、本町から長年体育振興に尽力されました二名の方々に県体育協会功労者表彰が授与されました。

町民の皆様のあたたかいご支援・ご声援どうもありがとうございました。

石川県体育協会功労者表彰

(敬称略)

長田 龍馬 (剣道・鶴ヶ丘)
中野 俊一 (山岳・緑台)



成績一覧表 (町村の部)

	男子総合	女子総合
優勝	津幡町 639.5点	野々市町 481.5点
準優勝	野々市町 633.0点	津幡町 442.0点
第3位	内灘町 610.5点	内灘町 392.5点
第4位	鶴来町 518.5点	辰口町 372.0点
第5位	辰口町 493.5点	鶴来町 338.5点
第6位	高松町 408.5点	宇ノ氣町 337.5点
第7位	穴水町 405.5点	根上町 310.0点
第8位	寺井町 400.0点	寺井町 269.0点

◎2部総合成績 (県内33町村参加)

◎2部個人競技成績 (敬称略)

- 卓球
 - 男子の部 第2位 中居 憲吾 (宮坂)
- 剣道
 - 男子の部 第3位 中村 秀樹 (鶴ヶ丘)
 - 女子の部 第2位 吉本 玉紀 (緑台)
- 空手道
 - 男子の部 第1位 向 重吉 (アカシア)
- ボウリング
 - 男子の部 第1位 高田 秀夫 (西荒屋)
 - 男子の部 第5位 小西真知子 (鶴ヶ丘)
- 武術太極拳
 - 女子の部 第1位 渡辺 博子 (鶴ヶ丘)

◎2部競技成績 内灘町関係分 (第3位以上)

- 第1位
 - 男子: 柔道・弓道・空手道・綱引 (3部)
 - 女子: テニス・バスケットボール
- 第2位
 - 男子: バレーボール・バスケットボール
サッカー・自転車 (3部)
 - 女子: 水泳・卓球
- 第3位
 - 男子: 軟式野球・卓球・相撲
バドミントン・ソフトボール

月見のお茶会

秋の夜長、内灘町茶道協会では、月見のお茶会を開催いたします。
すすきの囁きに誘われて、月のひかりに一服いかが。広く町民のみなさまのご参加をお待ちしております。

日時 平成11年9月23日 (水・祝) 午後6時から

場所 惜亭 (内灘町歴史民俗資料館隣)

参加費 お菓子代等500円を当日持参ください。

※参加申込み 平成11年9月10日 (金) まで

生涯学習課 (☎286-6716)

又は内灘町茶道協会事務局 (三野) (☎238-9477)



9月、10月の行事のお知らせ

月	日	曜日	事業名	会場
9	6・24	金	はまなす大学	文化会館
10	10	日	内灘町スポーツレクリエーション祭	町内体育施設
10	10	日	子ども凧遊び大会	総合グラウンド
10	15	金	はまなす大学	文化会館
10	17	日	加賀地区中学校新人ソフトボール大会	中学校グラウンド
10/31(日)~11/7(日)			地区公民館文化祭	地区公民館
10	15	金	内灘町婦人意見発表大会	役場町民ホール

第五十二回石川県青年大会

第五十二回石川県青年大会が七月十日、十一日に能美郡を主会場として開催されました。
本町からは、軟式野球、柔道、相撲、水泳の四種目に参加し、県内の若者達と技を競い合い、交流を深めました。
柔道個人無差別級の今井裕二選手、水泳男子五十メートル平泳ぎの山口裕二選手の両選手が見事優勝を果たし、十一月十一日より東京で開催される「第四十八回全国青年大会」石川県代表に選考されております。

「学びの風」のお知らせ



内灘町教育委員会では、町民の皆様幅広く生涯学習活動の場を提供し、また、実践されている数多くの活動等を紹介することを目的とした、小冊子「学びの風」を発行しました。内容は、生涯学習に関する各種の教室や催しもの案内、町内の公共施設と生涯学習活動に取り組んでいる人の紹介などです。第二号は、九月中旬に発行する予定です。皆様からのご意見・情報等をお待ちしています。

9月の「はまなす大学」

日時 平成11年9月24日 (金)
午後1時30分～
場所 文化会館3階視聴覚室
テーマ 「内灘の漁業」
講師 石川県社会教育センター
学習企画課長 坪内 健一氏

「木谷藤右衛門家文書」完成

内灘町が一昨年から整備を進めていた「木谷家古文書」の編さんがこのほどようやく終了し、同古文書を内灘町に寄贈した、角島一治氏（金沢市在住）と、編さんにあたった北西弘氏（元大谷大学学長・西荒屋在住）に岩本町長から感謝状が贈呈されました。

木谷家は江戸時代加賀藩にあつて豪商として名を馳せ、廻船売買や材木の商いで多額の富を築いた家柄で、代々藤衛門を襲名しています。その家系からは多くの富豪を排出し、現在金沢市粟崎町には分家の木谷吉次郎を讃える顕彰碑も建立されています。角島氏から当町に寄贈された古文書は一千点を超え、発刊された「木谷藤衛門家文書」は八百三十六ページにも及びます。

町ではこの本を県内の主要図書館等に寄贈するほか、古文書は貴重な歴史資料として、後世に残していく方針です。



寄贈された資料の数々



「命をかけて守ってきた資料を無事お渡しできました。」と語る角島氏



「いい仕事をさせていただきました。」と語る北西氏

図書館情報

さあ、今年も親子揃って参加しよう！

音楽とおはなしの夕べ

第一回 九月十八日（土）

「オカリナと小松・加賀の昔ばなし」

第二回 九月二十五日（土）

「バイオリンと七尾・能登の昔ばなし」

第三回 十月二日（土）

「ハーモニカと内灘・金沢の昔ばなし」

※時間はいずれも、午後七時三十分から九時まで、会場は内灘町立図書館で行います。

※必ず、親子で参加してください。詳しくは、図書館へおたずねください。

◎新しく入った本

長介の女房

地獄坂

白夜行

呼人

ムツゴロウの動物交際術

育母書

シドニー郊外暮らし

こころと人生

絵でわかる遺伝子とクローン

経済白書物語

※新しく入った本は、館内の「利用者端末機」で調べることができます。また、図書館では

- | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|------|------|------|-------|-------|-------|------|
| 平岩 弓枝 | 森村 誠一 | 東野 圭吾 | 野沢 尚 | 畑 正憲 | 浜 文字 | 北島 博照 | 河合 隼雄 | 小原 康治 | 岸 宣仁 |
|-------|-------|-------|------|------|------|-------|-------|-------|------|

月一回「新着図書案内」を発行しております。蔵書調査や予約は電話やFAXでも受け付けておりますので、どうぞご利用ください。

◎今月のオススメ本

被写体



『被写体』

三浦 友和 著

大スター山口百恵と結婚し、加熱するマスコミに包囲され続けた十数年、それは「悩み」ではあるが「不幸」ではなかった……。俳優として、夫として、父としての熱き真情を、著者が折々に綴った回想記。

調べてみました

「敬老の日」っていつからあるの？

昭和四十一年の第五十一回通常国会で、「敬老の日」という名で国民の祝日に加えられました。

この頃になると、厳しかった暑さも過ぎ、暮らしやすくなります。また、祖先のことを偲ぶ「秋分の日」も近づいています。それで、長い間家族に尽くしてくれたり、世の中のために働いてくれた老人に、感謝の気持ちを表そうというのがこの日です。

（参照：日々の研究事典小峰書店刊）



図書館に対するご意見・ご感想をお待ちしております。

☎ 286-1930・FAX 286-1931

人がいる。言葉がある。

The 12th JAPAN TENT

世界留学生交流・いしかわ'99

うちなだの集い



かわいい「ヤッコ踊り」で幕開け(西荒屋「晴亮会」)

第十二回 JAPAN TENT いしかわ'99が七月三十日(八月六日まで、県内各市町村で盛大に開催されました。

当内灘町にも世界十四ヶ国十八名の留学生が集いました。八月三日(火)に行われた歓迎パーティーでは、留学生とホストファミリーが一堂に集い、西荒屋民謡教室「晴亮会」のみなさんによる、かわいい歌や踊りを楽しんだり、内灘町青年団協議会の演奏によるビートルズナンバーを合唱したりと、和気あいあいのひとときを過ごしました。

冒頭、歓迎あいさつに立った岩本町長は、「三日間という短い期間だが、家族の一員として日本人と同じように過ごしてほしい。日本の文化や風習を感じ



WELCOME TO UCHINADA JAPAN TENT うちなだの みんな舞台上がって盛りあげました。

雲ひとつない晴天となった翌日、「日本海内灘砂丘風の会」のみなさんの協力で、日本古来の和風を製作した留学生とホストファミリーのみなさんは、権現森海水浴場で真夏のひとときを過ごしました。砂浜では、自作の凧あげに興じたり、西瓜割りを楽しんだりする人、初めての海水浴に歓声をあげる人、水

とり、次代を担う若者として世界平和に貢献してほしい。」と述べ、実り多い交流を期待しました。この後町長自らがカラオケを披露したり、また、青年団のバンド演奏ではカナダの留学生アンドリュースさんのギター演奏の飛び入り参加もあって、留学生やホストファミリーのみなさんは夜遅くまで交流を深めました。



地引き網は大漁でした。

ひとつひとつの小さなつながりが、いつしか大輪の花となり、世界の人々が手を携え、争いのない平和な世界になることを心より願いたいものです。また、留学生を快く受け入れていただいた家庭や関係者の皆様方に心よりお礼申し上げます。



左からポーランド・スーラ・ダ(アメリカ)さん、岩本町長、南出喜美代さん

上バイクでスリルを満喫する人など、参加者は海と砂丘の町、内灘での短いひとときを思う存分楽しみました。

留学生の方を迎えるのは2度目です。普通の家族のように接しているので、特別なことは何もしていません。



東さんファミリーとオウ・イン(中国)さん



三谷一揮くん、彩加さんとキョウ・エンジョ(台湾)さん、ペン・ハイ・ルー(中国)さん

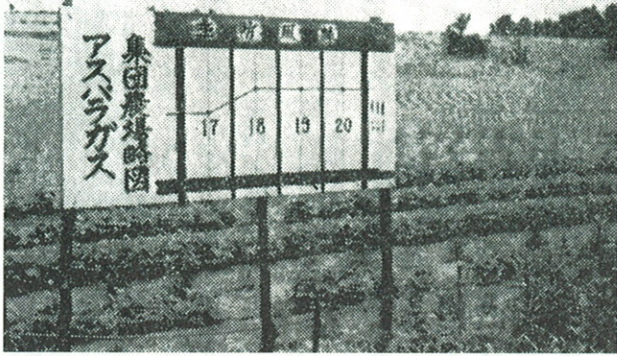


日本海内灘砂丘風の会の手ほどきで真摯な表情で凧づくり

うちなだ再発見!

砂丘地農業

先月号のこのコーナーでは、砂丘地におけるアスパラガス栽培に焦点を当ててみました。現在アスパラガスといえば、緑色のシヤキシヤキした食感を楽しむものが主流ですが、当時のアスパラガスは、日光を当てずに白く育てたものを、茹でて缶詰



アスパラガス集団農場 (昭和40年頃)

めにしたものがほとんどで、これをサラダなどにして食することが、歐風として好まれていたようです。

不毛の地といわれた内灘砂丘に、鳴り物入りで登場し、全国大会まで開催されたアスパラガス栽培でしたが、昭和四十年の缶詰工場設立の頃をピークとして生産量は減少していききました。農業経験が浅く、指導体制が確立されていなかったこと、出荷体制も万全ではなかったこと、管理の悪さから不良品を排出したことなど、原因は様々であったと思われませんが、何より、内灘町民がもともとは漁師であったことが大きな一因ではなかったかと考えられます。

板子一枚下は地獄という環境で、豊・不漁の波こそあれ、ひとたび当てれば一攫千金も夢ではないという博打打ちにも似た漁師気質では、地味な農業経営に向かないことは自明でした。試射場接収反対闘争で『金は一年、土地は万年』と気炎をあげ、『砂丘地開発協議会』なるものまで発

昭和14年における内灘村の農産物産額

		金額		作付面積等
		円	%	
食	米	62,235	53.3	508反
	麦	140	0.1	20
用	甘薯	7,380	6.3	369
	大根	6,006	5.1	156
	西瓜	3,125	2.7	50
	その他	2,988	2.6	-
	小計	81,878	70.1	-
	梅	1,080	0.9	674本
果	洋桃	5,237	4.5	2,580
	ブドウ	2,300	2.0	885
樹	その他	77	0.0	-
	小計	8,694	7.4	-
養	春蚕	19,901	17.0	116戸
	夏秋蚕	6,265	5.4	
	小計	26,166	22.4	
合	計	116,738	100.0	-
畜	豚	60		6頭
	家禽	950		760羽
	卵	2,099		41,975個
合	計	3,109		-

(内灘村「村治一覽」より)

足させて挑んだ農業経営でしたが、土地への執着は必ずしも農業と結びついていくものではありませんでした。外国に輸出することまでも視野に入れたアスパラガス栽培も、わずか五年余りの歳月で、人々は急速に栽培意欲を失っていったのです。

折から始まった高度経済成長の波と、それに起因する宅地造成熱、国営河北潟干拓事業、無尽蔵にあるかに思われた浜砂の売買など、内灘を取り巻く環境は大きく様変わりしていききました。また、金沢港建設事業により農地を失った、金沢市大野・無量寺・桂・五郎島などの農民が、

まとまった農地を近隣の内灘に求めて来たため、これを契機にと土地を売り渡す人も多くいました。このようにして、かつてあれほど希求し、食料難時代には宝の山とも思えた砂丘地農業は、現在一部で西瓜、大根などが生産される他は、まったく姿を消してしまつたのです。

向粟崎で栽培された洋桃、大根布で栽培されたぶどう、宮坂以北で行われた養蚕、そして全町を挙げて取り組んだアスパラガス栽培の歴史を知る人も、今ではすっかり少なくなつてしまいました。

向粟崎で栽培された洋桃、大根布で栽培されたぶどう、宮坂以北で行われた養蚕、そして全町を挙げて取り組んだアスパラガス栽培の歴史を知る人も、今ではすっかり少なくなつてしまいました。

”けっこうなおてまえでした“

鶴ヶ丘児童館でお茶会

町内の三つの児童館（向粟崎・鶴ヶ丘・内灘）では、月に一回お茶会を開催しています。ここ鶴ヶ丘児童館でも、学校から帰ってきた子どもたちは、この日ばかりは大急ぎで宿題を片付けます。神妙にお茶をいただくしぐさはなかなか道に入ったもの。「お先にいただきます。」「ありがとうございます。」とあいさつもちゃんと言えます。でも子どもたちは、お茶よりもお菓子の方に興味がある様子。この日は鮎を型取った涼しげなお菓子でした。きちんと正座した子どもたちは、作法通りにじょうずにお茶をいただきました。「けっこうなお手前でした。」



1年生のむろおか しょうた君（写真中央）
「甘いお菓子が食べられるので楽しみ。
ちょっとにがいけどお茶もおいしいよ」



おおみち とうこう 先生
大道 宗幸 先生

も人としての道を教えることが基本だと思っています。「こんにちは」「ありがとう」「いただきます」こんな簡単なあいさつさえ言えない子どもが最近は多くなっています。家族揃って食卓を囲む家庭が少ないのでしょいか。このお茶会を通して子どもたちがすなおに「ありがとう」と言ってくれるようになることが一番嬉しいですね。それに純真な心の子どもたちと触れ合うことが私の楽しみでもあるんですよ。

十二〜三年前からボランティアでこの仕事をお引き受けしています。「茶道」は作法そのものより



ひがし とうび 先生
樋榎 宗美 先生

お日さま色の迷路です

ひまわり村開村式

七月二十四日（土）河北潟干拓地で「ひまわり村」の開村式が行われました。五月二十日に種をまいたひまわりは、今ではおとなの背丈ほどに育ち、二・二ヘクタールの巨大な迷路になっています。この日訪れた金沢市、津幡町、内灘町、宇ノ気町の園児等は、テープカットの後さっそく迷路にいどみ、大きな背丈のひまわりに歓声をあげていました。



ひまわりのバッジをつけてテープカット



9200292
内灘町字大学1丁目2番地1
内灘町役場
総務課広報係 行

住所
名前

みなさんの身近な出来事、地域の話
題や催しなどがありましたら役場総
務課までお知らせください。
☎ 286-6720
FAX 286-10617

投稿の際には、
「住所・氏名・電話
番号」を必ず記入
してください。

フォーカス

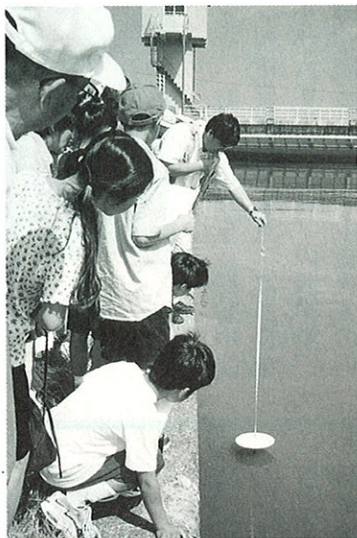
『ホテアオイって何？～河北潟の水について～』



「この小さな丸いものがレジンペレットだよ。」と説明する
沢野講師

道の摩周湖が四十一メートルであるのに対して、河北潟の水の透明度は実験の結果、わずか五十八センチメートルと低いことが分かり、子どもたちを驚かせました。

次に、海岸でプラスチック製品の原料となるレジンペレットを探しましたが、わずかな時間にすべての子どもたちが三十〜四十個のレジンペレットを見つけてきました。沢野講師は「鳥は卵からかえって初めて見る『丸い小さなもの』をえさだと一考ええま。もし、生まれたすぐそばにレジンペレットがあったら鳥たちはそれを『えさ』だと思って食べてしまいます。レジンペレットをえさだと思って食べた鳥はどうなるでしょう。」と子どもたちに投げかけていました。美しいふるさとうちなだを町民みんなの手で守り育てていきたいものです。



河北潟の透明度は？う～ん

豊かな心を育

む内灘町民会議では、

町内の小学校三年生〜六年生を対象に内灘夢教室「ふるさと内灘を探ろう」を開催しています。

七月十日（土）に開かれた第三回目の教室では、星陵女子短大の沢野伸浩先生を講師にお招きし、親子約三十人が河北潟や日本海の水質の現状と対策について学習しました。

河北潟放水路では直径三十七センチメートルの白い板を使って水の透明度を計測しました。日本国内で最も透明度の高い北海



姉妹都市羽幌町との交流深める

七月二十九日〜八月一日までの四日間、青少年スポーツ交流事業の一環として、当町の少年柔道訪問団が、北海道羽幌町を訪れました。

羽幌町武道館で開催された「内灘町・羽幌町青少年スポーツ交流会」では柔道を通じた交流で友情と連帯を深め、両町の子どもたちは姉妹都市のきずなをさらに強くしていました。

この訪問によって得られた友情の輪は、生涯忘れられない思い出として参加したみなさんの心に残ることとされています。



小中学生が清掃奉仕

七月二十一日（水）、町内の海岸と公園等で、向粟崎小学校五年生、大根布小学校全員、内灘中学校一・二年生の約一、三〇〇名がボランティア活動として、清掃奉仕を行いました。

向粟崎小学校は、環境教育の一環として、内灘海水浴場を、大根布小学校は、クリーン大作戦と銘打って校下の公園など七ヶ所を各グループに分かれ、清掃奉仕を行いました。また、内灘中学校は、生徒が全員で協力して成し遂げる喜びを体得させ、奉仕の心を育むことを目的に大根布海岸と町内の九ヶ所の公園などの清掃奉仕を行いました。

当日は、使慣れない鎌に悪戦苦闘しながら、たっぷりという汗をかき、海岸や公園は、見違えるようにきれいになりました。

ありがとうございました。



小中学生友好訪中団 結団式

いざ 大陸へ!

七月十五日(木)、役場町民ホールで、町内小中学生友好訪中団の結団式が行われました。一行は、西尾雄次役場生涯学習課長を団長とする二十名で、町内五つの小学六年生各二名、内灘中学三年生五名の十五名の生徒に、先生等が随伴します。生徒代表の内灘中学三年浜田宏志君は、「中国の生活や文化に触れて交流を深めたい。元気でいってきます。」とさわやかにあいさつしました。一行は夏休み中に簡単な中国語の勉強や、生活習慣等を学び、九月十九日(日)から七泊八日のスケジュールで、姉妹都市呉江市をはじめ蘇州、南京、北京市等を回り、九月二十六日(日)帰国予定です。

代表団のみなさんは、次の通りです。



決意表明する西尾団長

内灘小中学生友好訪問中団団員名簿

No	氏名	備考	No	氏名	備考
1	西尾 雄次	役場生涯学習課長	11	道村 唯	鶴ヶ丘小学校6年
2	岡部 治隆	向粟崎小学校長	12	島田 典明	大根布小学校6年
3	木田 崇	内灘中学校教諭	13	南 美里	"
4	松井知佳子	大根布小学校教諭	14	上野真理花	西荒屋小学校6年
5	長谷川万里子	役場総務課職員	15	中林 千夏	"
6	前田 雄大	向粟崎小学校6年	16	浜田 広志	内灘中学校3年
7	藤田 夏葵	"	17	油野 みな	"
8	桶谷 健太	清湖小学校6年	18	大谷 千佳	"
9	堀江 聡美	"	19	永江みずほ	"
10	田中ちひろ	鶴ヶ丘小学校6年	20	森田 真奈	"

思ったよりも大変でした。

夏休み職場体験学習!!

七月二十六日・二十七日の二日間、内灘中学校では、夏休み職場体験学習が実施されました。この行事は、夏休みを利用して生徒に実社会での仕事を体験してもらい、生きた勉強として役立てようというものです。二十六・二十七日の両日に消防本部を訪れた二年生二十人は、座学の後、実地体験に移り、「気をつけ!」「休め!」の号令と共に訓練礼式を学んだり、空気呼吸器を体験するなど、炎天下の下、汗を流しながら訓練に励みました。



空気呼吸器の装着
お・重い!

内灘中学二年生、三百五十五人は、この二日間で町内を始め、保護者が勤務する金沢市内の企業等を訪れました。中には河北潟干拓地の牧場を希望したグループや、遠くは金沢市の国際ホテルを希望したグループなどもあり、厳しい実社会の仕事の一端を垣間見て、今後の学習活動に役立てようと意欲的に取り組んでいました。

今回は内灘町消防署で学んだ山道卓也さんから消防署に送られたお礼の手紙をご紹介します。

前略

先日は、職場体験学習で大変お世話になり、ありがとうございました。

職場体験学習を通して、消防署の仕事というものが、よく分かりました。

初めは火を消すという仕事が多かったと思いますが、「予防」と「警防」という仕事内容もあるということが分かりました。

ロープの結び方や、心肺蘇生法、礼のやり方、歩き方などを教えていただき本当にありがとうございました。

どの人もていねいに教えてくれてすごく勉強になりました。これからもお体に気をつけて、お仕事に頑張ってください。

七月二十八日 内灘中学校 二年四組 山道 卓也

内灘町消防本部様

草々



意外に力がいらいます。(人工呼吸法)



2年4組 山道 卓也 君

父が金沢市消防本部に勤務しているので消防署を選びました。